
地盤工学会中部支部「平成28年度第1回講演会」開催のご案内

主催：公益社団法人 地盤工学会中部支部

後援：一般社団法人 応用地質学会中部支部

公益社団法人 砂防学会東海支部

地盤工学会中部支部では地盤工学の学び直しやその周辺のことを知ることで、地盤工学の重要性や役割の再発見のために講演会・講習会を開催しています。今回は、土砂災害をテーマに、京都大学防災研究所准教授 竹林洋史氏を講師に迎え、「土石流の数値シミュレーションソフトウェアと斜面崩壊発生予測アプリ ～土砂災害による死者ゼロを目指して～」と題した講演会を下記の要領で行います。奮ってご参加下さい。また、応用地質学会中部支部に加え、今回は砂防学会東海支部にも後援を頂いております。

G-CPD ポイント数：2

日 時：平成29年1月19日（木）、18:00～20:00

場 所：名古屋工業大学（講義室は、2号館1階0211教室）

交通アクセス： <http://www.nitech.ac.jp/access/>

キャンパスマップ： <http://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>

会 費：地盤工学会または後援学会の個人会員・特別法人会員 500 円、いずれの会員でもない非会員 1,000 円、学生 300 円

講演題目：「土石流の数値シミュレーションソフトウェアと斜面崩壊発生予測アプリ ～土砂災害による死者ゼロを目指して～」

講 師：竹林 洋史 氏（京都大学防災研究所准教授）

講演概要：

2014年の広島・南木曾・丹波、2013年の伊豆大島など、短時間で高強度の豪雨によって発生した表層崩壊に起因した土石流による土砂災害が近年頻発している。表層崩壊に起因した土石流は、降雨継続時間が短くて総降水量が小さくても、降雨強度が高いと発生しやすい。そのため、地球温暖化による気象特性の極端化によって表層崩壊に起因した土石流の発生回数が増加することが予想され、土石流動態の解析と解析結果にもとづいた効果的なハード対策及び避難方法の検討が求められている。

本講演では、土石流の数値シミュレーションによる解析技術を紹介するとともに、本解析モデルによって、より現実的な避難のための詳細な土石流氾濫域の情報を提供することが可能であることを紹介する。また、土石流発生前の避難のために開発したスマホ用の斜面崩壊発生予測アプリについて紹介する。

申込み方法：参加ご希望の方は、①氏名 ②所属 ③連絡先 ④会員・特別法人会員・非会員の別を下記までメールまたはFAXにてお知らせください。（参加費は当日お支払ください。）

申 込 み 先：地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号ポーラビル8F

電話：052-222-3747 FAX：052-222-3773 E-mail：jibanchu@jeans.ocn.ne.jp
